

店はお客さまのために

新しい世代に引き継がれる夢

20年来の友人がカリフォルニアからやってくる。ワインの銘醸地ナパヴァレーからウォーターストーンワイナリーのフィリップが16日から来日することになった。

フィリップと初めて出会ったのは、20年近く前、私がカリフォルニアワインのコンテストで初めて研修のため訪れたパライソぶどう園だった。パライソはカリフォルニアのモントレイにあるぶどう園だ。当時ナパヴァレーこそ有名な産地だったが、モントレイは秀逸なブドウを作る農業地としては知られていた

ものの、ワインの産地としてはまったく無名だった。

しかし、ナパヴァレーの有名な大手ワイナリーがそのブドウを契約して購入するなど、ブドウの品質の良さには定評があった。パライソぶどう園のオーナー、リチャードはモントレイの産地のブドウで高品質なワインを作り、「モントレイという産地名を有名にしたい」と、熱く語っていた。

その後パライソのワインは、その品質の良さとコストパフォーマンスで全米トップクラスの評価を得て、モントレイの産地

種本祐子

（ヴィノスやまざき専務）



ブランドを確立することに成功した。そして、その陰の貢献者が初代パライソのワインメーカーであるフィリップ・ゾーンだった。

ドイツ人の彼は、ドイツで学んだワイン作りをカリフォルニアで花開かせた。そしてモントレイで培った力を、いつかはナパヴァレーで、そして世界で花開かせようと、われわれは熱い夢を語り合った。

現在、フィリップは世界のワイン産地の頂点とも言えるナパヴァレーで、素晴らしいワインを作っている。彼の作るカベル

ネソーヴィニオンは数万円以上の有名ワイナリー以上の評価を得て、ナパヴァレーのオークションでも大人気を博している。

そのフィリップが、今回は息子と一緒に来日する。モントレイのぶどう園で20年前に芽生えた夢は、さらに新しい世代に引き継がれようとしている。今回の来日では、20代のワインメーカーの息子も、東京をはじめとする当社各店舗でワインセミナーを行う。この夢をお客さまに伝えられる素晴らしいクリスマスイベントとなることを祈ってやまない。

たねもと・ゆうこ 静岡県生まれ。1987年、実家のやまざき酒店に就職。88年にヴィノスやまざきを設立。日本ソムリエ協会認定シニアワインアドバイザー。



フィリップ（左）の共同経営者であるブレント・ショートリッジ氏（右）と筆者（中）
—米カリフォルニア州